
CLOSET DESIGN BOOK

STYLOOP METHODで叶える
「20着の少数精鋭ワードローブ」と
小物の黄金ルール

はじめに



クローゼットに服はたくさんあるのに、
「今日着ていく服がない」と悩んだことはありませんか？

かつての私もそうでした。

「可愛い」「お得」「なんとなく」……

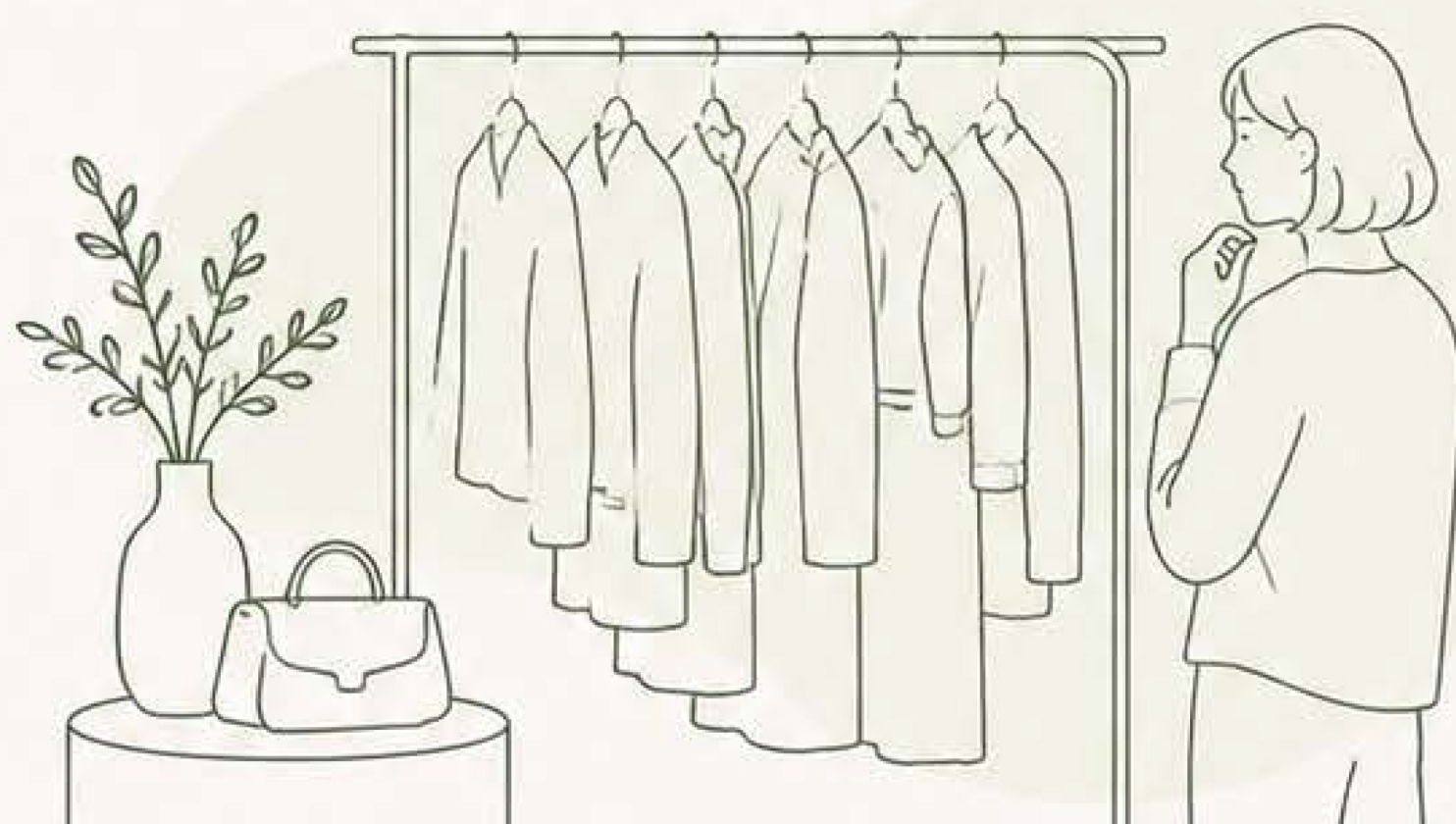
そんな感覚だけで選んだ服は、

一瞬のときめきはくれても、

あなたの日常を支える「一軍」には

なってくれません。

ファッションで大切なのは、
センスではなく「判断基準」です。



このPDFでは、Hitomiが構築した
「Styloop Method」をもとに、
無駄な買い物をゼロにし、
少ないアイテムで
自分を最大限に美しく見せるための
ロジックを凝縮しました。

「服は足すものではなく、 設計するもの」。

このBOOKを読み終える頃、
あなたの買い物とクローゼットの質は
劇的に変わっているはずです。

さあ、あなただけの
「少数精鋭なワードローブ」への
一歩を踏み出しましょう。



このBOOKの目的

このBOOKは、

「感覚だけで買って失敗する」を卒業し、
少ないアイテムでも洗練された印象を
作るための判断基準をまとめたシートです。

独自の「Styloop Method

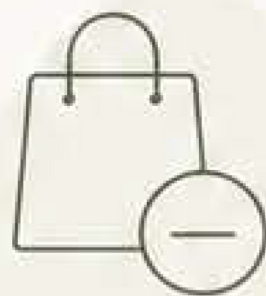
（スタイループ・メソッド）」を使い、

明確なロジックで選べるように
なることを目指します。

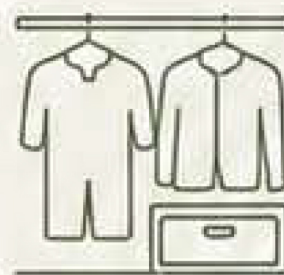
このBOOKで得られること



迷わず選べる
判断基準が
身につく



無駄な買い物が
減り、失敗が
なくなる



少ないアイテムで
着回しができる
クローゼットに
変わる



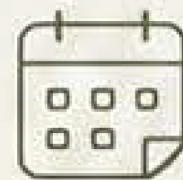
自分に似合う
スタイルで、毎日が
もっと心地よく
なる

買い物で失敗する 3つの原因

- 1 直感だけで買っている
(「可愛い!」という一時的な感情)
- 2 手持ち服との相性を見ていない
(単品の魅力だけで選んでいる)
- 3 『使う場面』を想定していない
(いつ、どこで着るかが曖昧)

ショップで素敵なアイテムに出会った時こそ、
立ち止まって想像してみましょう。

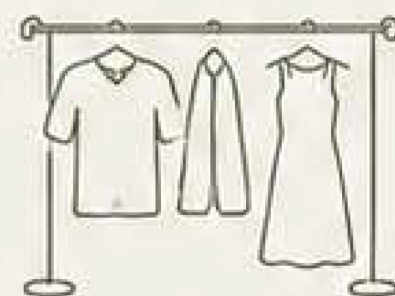
● いつ着るか？



● どこで着るか？



● 今、自分はコーディネートできる服を
すでに持っているか？



● 「安いから」では買わない

買い物における最大の敵は「お得感」です。

価格を理由にするのではなく、あなたの

人生（クローゼット）に必要なか、長く愛せるかを

最優先します。

● クローゼットの「一軍」を創造する

20着の少数精鋭ワードローブを想像してください。

新しく入るその1着は、

今ある大切な服と同じ役割ではありませんか？

もしそうなら、それは今のあなたには

不要なものです。

買う前チェックリスト

1 相性と納得感：

- ☐ すでに持っている服3点以上と合わせられるか
- ☐ 楽しい気持ちで着ている姿が想像できるか
- ☐ 「何か欲しいから」と妥協して選んでいないか
- ☐ 似たものをすでに持っていないか
- ☐ それは「今」の自分を最も美しく見せてくれるか

2 現実的な活用頻度：

- ☐ 具体的な着用シーンをイメージできるか
- ☐ 特定のイベント専用（一度きり）になっていないか
- ☐ 「いつか使う」ではなく「すぐ使える」か



Styloop Method の基本

Styloop Method | 選ぶ力は「判断基準」で決まる

Styloopの4つのカテゴリーに分類することで、
少ない服でも無限の着回しと洗練された印象が手に入ります。

着回しコードの4分類



B & B

ベーシックカラー
& ベーシックデザイン



C & B

カラー or 柄
& ベーシックデザイン



B & D

ベーシックカラー
& 個性的なデザイン



C & D

カラー or 柄
& 個性的なデザイン

左
サイド

ベースを作る



B & B

ベーシックカラー &
ベーシックデザイン

特徴

どのアイテムにも合わせられる
究極にシンプルなもの。
右サイドを輝かせるための最強のサポート役。

偏りがある場合

失敗を恐れすぎて「機能性」を
優先しすぎているかも。
クローゼットが地味で大人しい印象になり、
ファッションの楽しさが半減しがち。



B & D

ベーシックカラー &
個性的なデザイン

特徴

色は抑えつつ、異素材ミックス、
スパンコール、シアー、ファーなど
デザインだけでなく「テクスチャー（質感）」で
個性を表現。

偏りがある場合

華やかなカラーには抵抗があるけれど、
人とは違う表現をしたいタイプ。
ダークカラーばかりが並び、
クローゼット全体が暗い印象になりがちです。

右
サイド

変化を加える



C & B

カラー or 柄 &
ベーシックデザイン

特徴

形はシンプルに、色や柄で遊びをプラス。

ベーシックカラー（特にモノトーン）ベースの柄（ボーダー・チェック・花柄等）がおすすめ。

偏りがある場合

「無難」から抜け出したいけれど、踏み込みきれない慎重派。

色のバリエーションはあるものの、全体のシルエットがマンネリ化しやすい傾向に。



C & D

カラー or 柄 &
個性的なデザイン

特徴

デザインもカラーも華やかに！

左サイドのシンプル服と合わせることで、圧倒的な「主役」になる1着。

偏りがある場合

直感と感覚で「可愛い！」と購入するタイプ。合わせるための「引き立て役」が足りず、手持ち服と喧嘩したり、子供っぽい印象を与えてしまったりすることがあります。

アイテム数の黄金バランス (計20着)

クローゼットが機能しない原因は「偏り」です。
以下の比率を基準にマップを作成しましょう。

■ アウター (3点):

【B&B×1 or 2 / B&D×1or2】

全て異なる「役割 (丈・素材・厚み)」を持たせる。

■ トップス (8点):

各カテゴリー【B&B / B&D / C&B / C&D】×2

■ ボトムス (6点):

【B&B×2/ B&D×2 / C&B ×1/ C&D×1】

■ ワンピース (3点):

【B&D×1 / C&B ×1/ C&D×1】

Styloopからのメッセージ

「服は足すものではなく、設計するもの」。
全体のバランスを意識するだけで、
毎日の迷いはなくなります。

小物選びのルール

色をリンクさせる

- 革製品の色を揃える: 靴、バッグ、ベルトの色を統一する(黒、茶など)。
- 金具の色を揃える: アクセサリー、時計、バッグの金具をゴールドかシルバーに統一する。

素材感で「季節感」を出す

- 春夏: カゴ、メッシュ、リネン、クリア素材で軽やかに。
- 秋冬: スエード、レザー、ウール、ファーで重厚感を。

「主役」と「脇役」のバランス

- 服がシンプルな時: 小物を「主役」に(大ぶりアクセ、色鮮やかなバッグ)。
- 服が華やかな時: 小物は「脇役」に(ベーシックな無地)。

シルエット別: バッグ & シューズの正解

- ビッグシルエット(太めパンツ・厚着) : 重厚感のあるもの(レザートート、サイドゴアブーツ等)でバランスをとる。
- 細身シルエット(Iライン) : 軽やかなもの(ミニショルダー、ポインテッドトゥ等)で抜け感を出す。
- Aライン(下重心) : 重心を上げる工夫(短めショルダー、Vカットシューズ)を。
- Yライン(上重心) : 足元に重みを足す(中型バッグ、厚底スニーカー)と安定する。

おわりに

01 クローゼットは「心」を映し出す鏡

● クローゼットの偏りは、今のあなたの「心の状態」を映し出す鏡のようなものです。

「正解」を求めすぎて地味になっていないか、あるいは「ときめき」を優先しすぎて土台を見失っていないか、一度立ち止まって見つめ直してみましょう。

02 自分自身を整理するプロセス

● 自分のクローゼットと向き合うことは、生き方や価値観を整理すること。

理想の20着を揃えるプロセスは、決して妥協しない「自分への信頼」を築き上げる、あなただけの特別な旅でもあります。

03 あなたを最高に輝かせる一着を

● もしお買い物の途中で迷ったら、いつでもこのシートに戻ってきてください。

あなたが選び取るその特別な1着が、あなたを最高に輝かせる美しき”彩り”となることを、心から願っています。

最後までお読みいただき、本当にありがとうございました。